



全農長野県本部情報／グリーン レーダー Vol.474

Contents

JA改革 中期事業計画（平成28～30年度） 自己改革の進捗状況について 1～3

A-Policy 重点事業方針

- ・JA-LPガス営業力強化研修会を開催
- ・JAまごころ宅配からのご案内

A-Reports／

・松本山雅FCホームゲームで「JA全農長野デー」	7	・JA全農長野の事業現況	10
・SS事業協同経営「SSマネージャー全体会議」開催	8	・11月の動き	10
・幼稚園で米の食育イベント	9	・「長野県長寿食堂」野菜ビュッフェ提供スケジュール	10
・松本山雅FC金沢戦でリングPR	9	・11月のラジオ番組表	10
		・編集後記	10

【生産販売部】		
実行具体策	30年度計画	9月末進捗状況
1. 生産基盤の維持・拡大		
(1)多収穫・省力栽培による規模拡大 ①コギクの生産拡大 ②加工業務用野菜の拡大推進	①235万本 ②キャベツ1,200t	①200万本 ②キャベツ737t
(2)計画・適正生産の推進 ①リンゴ早生種(長果25等)早期産地化 ②夏ハクサイの適正生産 ③レタス生産力維持	①新規1万本 ②220万ケース ③1,300万ケース	①1万本管理 ②218万ケース ③1,204万ケース
(1)広域集荷やバラ集荷などモデルJ/Aでの多様な集荷体制整備(協議)	果実／ J/Aと調整中 野菜／1件 きのこ／1リスト 選定と検討	果実／集荷具体策の検討、課題整理。 野菜／県外共選体制の調査、収支計算による重点J/Aへの提案、自動計量結束機の実演会を開催した。 きのこ／モデルJ/Aとの検討をすめたが課題解決できず見直しとなり、J/A全体構想に併せた整備をすすめる。県下集出荷所の実態調査を踏まえ、今後県下の広域集荷体制の整備をすすめる。
2. 集出荷対策の向上		
3. 商品提供力の強化		
(1)多様な販売手法への取り組み ①リンゴ長期貯蔵販売の拡大 (2)加工・業務需要・輸出事業への対応強化 ①ブドウ輸出の拡大 (3)総合品目宣伝による認知度向上	①20,000コ コンテナ ①10億円 3・6億円 実施	取引先と商談調整。 本年度企画の確認と在庫数量調整。 前年対比102%。シャインマスカットを中心に、東南アジア圏への企画提案。 情報発信ツール(各品目動画等)を作成中。各品目課作成資材へも統一ロゴを活用中。
4. J/A・県本部一体となった長野米集荷推進の実施と販売力強化		
(1)集荷数量の確保	78,300t	計画達成に向け集荷推進中 ①主食うるち米の概算金引上げにより出荷契約数量を上回る集荷を推進する。 ②長野米輸出・消費宣伝について積極的に取り組む。

全長野県本部は、J/Aおよび子会社とともに、J/A自己改革の進展を加速化させ、農業所得の増大と地域の活性化に取り組んでいます。

I. 【自己改革における重点施策】 平成30年9月末時点での総括

その1 営農支援体制の充実《担い手に対する出向く体制強化および労働力確保》

(1)出向く体制強化は、県域の訪問先の情報を各J/Aへ提供し、J/Aと県域との共同対策について検討しています。また、担い手支援システムの活用方策を検討・提案しています。農業労働力確保対策および営農指導体制の強化については、J/A営農農政担当部課長会議等で検討を続けてきましたが、下半期よりプロジェクトにより検討をすすめます。
(2)担い手ニーズの対応として、水稻超大型規格農業は取り組みが着実に広がり計画を上回りました。下期に向けて、農家戸別銘柄「B」わたしの肥料」の提案推進や農業の農家直行配送の利用し易い方式提案等をすすめます。
(3)畜産・酪農では、県本部生産農場での素畜供給拡充、J/Aと一体となった営農指導の強化、空舎を利用した生産―農場の準備等による生産基盤の維持確保に取り組んでいます。

その2 農業所得の増大《J/A・県域による販売力強化とコスト削減》

(1)農業所得増大に向けて、計画・適正生産の推進、多様な集荷体制整備の協議、輸出への対応に積極的に取り組んでいます。また、消費宣伝活動や統一ロゴの活用を通じ、長野県産農畜産物の更なるブランド強化をすすめています。
(2)生産資材は、段ボールの原紙や規格の集約、省力型BB肥料の普及拡大、農業機械の県域推奨型式の重点購買・県域レンタル事業拡大・中古機流通拡大による生産コスト低減に取り組んでいます。

その3 ライフラインの充実《地域 の生活基盤整備》

(1)地域のライフライン充実に向けて、SSについては、SSマスタープラン見直し計画に基づく収支改善に取り組んでいます。また、ガス事業については、全J/Aにおいてガスライフアドバイザー（GLA）活動を展開し、営業力強化に努めています。
(2)宅配事業では、J/Aと連携して「おためしセット」を活用した新規会員獲得キャンペーンや事業収支改善に取り組んでいます。家庭菜事業では、コンプライアンスの徹底と配置戸数の確保に努めています。

II. 各事業別 平成30年9月末進捗状況

【J/A長野県営農センター】

実行具体策	30年度計画	9月末進捗状況	達成度合いと今後のすすめ方
1. 中心的担い手等の育成・支援			
(1)J/Aと県域の出向く体制整備	全J/A	協議中	県域の訪問先の情報を10J/Aに提供した。共同対策について引き続きJ/A別に協議する。
(2)労働力確保情報交換会等の開催	2回	3回	県等と連携し、情報交換会・研修会等を開催した。引き続き、国の動向を注視しながら、情報の共有化と対応を検討する。
2. 営農指導体制の強化			
(1)担い手アンケートにもとづく指導体制強化	4J/A	2J/A	2J/Aと打ち合わせを実施し、対応を検討した。残りの2J/Aについても下半期に打ち合わせを実施する。
(2)品目別ボトムアップ研修会開催(受講者数)	20人	39人	経営管理ボトムアップ研修会の研修計画を策定し、39人の申し込みがあった。下半期に4回実施する。
(3)指導者会議 ブロック別検討会開催	60回	37回	積極的な取り組みにより計画を達成する見込み。
3. 栽培技術等によるコスト削減推進			
(1)リンゴM9台木の取木繁殖技術定着推進とウィルスフリー化台木生産	45千本	生育管理中	11月の堀上げをめざして良質な苗木を生産する。
(2)業務用多収穫省力化技術研修会開催 ①供給先別果樹多収穫技術研修会 ②業務用野菜栽培技術研修会	①2回 ②3回	①2回 ②2回	①りんご高密度わい化栽培研究会・指導会。 ②キャベツ機械収穫一貫体系の実践検証等。
4. 安全・安心な信州農作物の生産・供給			
(1)残留農薬自主検査の実施	1,700検体	1,380検体	計画通り検査をすすめる。
(2)GAP・トレース産地条件等の研修会開催	4回	3回	GAP全体会議、地区別等の研修会開催。

【生産購買部】				
実行具体策		30年度計画	9月末進捗状況	達成度合いと今後のすすめ方
1. 包装資材価格のメリット創出				
(1) 段ボール原紙アイテムの集約	累計10アイテム	累計6アイテム	集約可能な小ロット原紙について切替える方向で整理した。	
(2) 段ボールの規格集約	累計5規格	累計3規格	計画の残り2規格はサニー・リーフの集約に向けた最終調整を対象J Aと行っている。	
2. 担い手ニーズへの対応				
(1) 「わたしの肥料」の取扱拡大	2,650 t	532 t	受注が本格化するのは下期となる。大規模経営農家に提案推進する。	
(2) 農業の農家直行方式拡大	160戸	154戸	果樹・野菜農家向けで計画未達成。31年産に向けより利用し易い方式を提案する。	
(3) 水稻超大型規格農業の取扱拡大	1,800 ha	1,943 ha	取り組みが着実に広がり計画を上回った。31年産に向け取り扱い品目を拡大する。	
3. トータル生産コストの抑制				
(1) 省力型B B肥料の普及拡大	7,200 t	1,803 t	受注が本格化するのは下期となる。新規銘柄の普及拡大をはかる。	
(2) より安価な緩効性窒素肥料のB B原料への活用	250 t	108 t	今後、新規銘柄の取り扱い開始と既存銘柄の原料切替えを予定している。	
4. 農機コスト低減の取り組み				
(1) 県域推奨型式設定による重点購買	累計5型式	累計3型式	3型式の累計実績は1号機(トラクター20Ps)88台、2号機(トラクター25Ps)17台、3号機(畦草刈機)612台と堅調に進捗。H30・9の県域推奨型式委員会にて追加2型式の設定が決定した(管理機2機種)。	
(2) 中古機流通拡大に向けた不用品機査定・買取の取り組み実施	累計4 J A実施	累計2 J A実施	下半期に協同経営J Aで取り組みを予定。	
(3) 県域レンタル事業実施J Aの拡大	4 J A実施	3 J A実施	トラクター(2 J A)、キャベツ収穫機(1 J A)の貸出を実施。H30・9に圃場の排水対策を目的としたカットドレーニンおよび牽引用トラクター(2台)を取得し、貸出推進に取り組む。	

【畜産酪農部】

実行具体策			30年度計画	9月末進捗状況	達成度合いと今後のすめ方
1. 生産基盤の維持確保					
(1) 空舎利用による生産農場の稼働			1 農場	1 農場準備	J A 子会社立上げ準備、31 年6 月稼働予定。
(2) 生乳出荷量の確保			95,000 t	46,226 t	県本部生産基盤強化対策事業等を活用した後継牛生産拡大。
(3) 農場H A C C P モデル農場の設置			3 農場	3 農場検討	1 農場について取り組みを始める。
2. 信州産ブランドの確立					
(1) 信州プレミアム牛肉の販売促進			2,000 頭	1,035 頭	和牛出荷の増加、品質維持。
(2) 特色ある「信州産」牛乳・乳製品の商品開発・販売			開発・販売	イベント等での信州産牛乳・乳製品のPR	牛乳セミナーの開催、年末キャンペーンの企画と実施。
3. 飼料用米の流通体制の確立					
(1) 流通数量			1,700 t	—	30 年産飼料用米集約中。
4. 地域畜産酪農営農センターの設置					
(1) 進捗状況			2 箇所検討	2 箇所検討	J A との事業懇談会における意見聴取。
5. 県本部生産農場の素畜供給機能拡充					
(1) 素牛販売頭数（二岳牧場）			50 頭	30 頭	育成成績の向上・維持。
(2) 素子豚供給頭数（S P F 豚繁殖センター）			21,600 頭	11,218 頭	多産系種豚の増加、生産技術向上による供給頭数の増加。
(3) 初妊牛上場頭数（八ヶ岳牧場）			30 頭	11 頭	相対取引含め県内供給をすめる。

【生活部】

実行具体策			30年度計画	9月末進捗状況	達成度合いと今後のすめ方
1. J A 別 S S マスタープランの実践					
県下 S S 数			155SS	156SS	S S マスタープラン見直し計画に基づき統廃合を実践する。
2. ガス事業の営業体制強化					
G L A 設置販売所数			15 販売所	39 販売所	全 J A において G L A 活動を展開し、販売促進企画書に基づき営業力強化に努めた。今後、階層別研修会を開催し、燃熱・暖房推進に取り組む。
3. 営農車の取扱強化による台数確保					
取扱台数			3,000 台	1,238 台	衝突被害軽減ブレーキを装備した長野県限定車の取り扱いにより営農車拡販に努めた。今後、県下統一モーターキャンペーンの展開により系統自動車事業の強化をはかる。
4. S S 協同経営の収支改善					
カーメンテ収益の確保（供給金額）			534 百万円	256 百万円	統一・独自供給促進に取り組みカーメンテ供給に努めた。今後も拡販施策を実施し、供給高を確保する。
5. 生活事業取扱強化					
(1) 満足度向上と推進体制強化による宅配おまかせ会員戸数の維持			7,000 戸	6,601 戸	利用者アンケートを実施し、満足度向上の取り組みをすすめているが、会員の高齢化等による自然減が続いている。J A と連携し戸数確保に取り組む。
(2) 巡回体制強化による家庭薬配置戸数の確保			89,000 戸	86,125 戸	コンプライアンスの徹底と配置員の資質向上に努めた。配置戸数は高齢者と小世帯化に伴い減少傾向にあるが、J A と連携し戸数の確保に取り組む。
(3) セレモニー県域施行件数の確保			4,000 件	1,746 件	小規模葬ニーズへの対応や昨年度から取り組みを開始した墓所清掃・布団供養の拡大に取り組んだ。劇的に変化する事業環境に対応した取り組みをすすめる。

燃料・ホーム
エネルギー課

J A ・ L P ガス営業力強化研修会を開催

長野県農協生活事業推進協議会燃料専門部会（会長／篠之井洋彰 J A 松本ハイランド経済部長）は、8 月 5 10 月にかけて「J A ・ L P ガス営業力強化研修」を開催しました。

■ L P ガス事業の現状

近年の L P ガス事業は、様々なエネルギー選択肢の増加や人口減少などを背景として競争が益々激化しています。J A ・ L P ガス事業は、県下で約13 万戸と非常に多くのお客様にご利用いただいていますが、他エネルギーへの切替えや自然減など厳しい事業環境の影響がみられ、L P ガス事業者として一層の営業力向上が求められています。

一方で、L P ガスは多くの中山間地を抱える長野県にとつて欠かせないライフラインであり、都市ガス、電力と比較して災害に強く復旧が早いという特徴があることから、国が定めるエネルギー基本計画において

も「エネルギー供給の最後の砦」として位置づけられています。

■ 営業力強化に向けて

現在、J A ・ L P ガス担当者の営業力強化を目的とした「J A ・ L P ガス営業力強化研修」の開催を進めています。今年度は受講者のスキルにに応じて初級、中級、上級と階層別に3 回開催し、合計42 名が受講しました。研修の中では、「お客様に接する上での基本的な心構え」「グループワークを通じた自 J A の強み弱みの分析」「調理実習による最新ガス器具の機能体験」「お客様ニーズにあった最適なガス器具の提案」「優良販売所の事例紹介」など受講者のスキルにに応じて様々な角度から研修を開催しました。

J A ・ L P ガスをご利用いただくお客様は、コンロのみの利用が多い状況ですが、各ガス器具メーカーより、ファンヒーター・床暖房・衣類



初級研修グループワーク（講師／株）パロマ名古屋研修センター長）



上級研修質疑応答（講師／全農東北エネルギー株秋田支店長・あきた白神販売所長）



待されます。

お客様により一層安全・安心・快適に J A ・ L P ガスを利用していただける様に、今後も各種研修会の開催等を通じて営業力強化を図り、更なるサービスの向上に努めて参ります。

生活課

J Aまごころ宅配からのご案内

年末年始商品のご案内

J Aでは、まごころ宅配を中心に年末年始関連商品を取り扱いしております。宅配をご利用でない皆様もご注文可能な商品がございますので、是非この機会にご利用ください！

○福味鶏ローストチキン

毎年ご好評いただいております「福味鶏ローストチキン」は信州産の福味鶏を使用し、丁寧に焼き上げたローストチキンです。袋のまま湯煎で温めるだけで簡単にお召し上がりいただけますが、グリルなどで表面を炙るとさらにおいしく召し上がれます。大きなサイズで軟らかく胃にもたれにくいと利用者からリピーターが多い商品です。クリスマスにどうぞ。（この商品はJ Aまごころ宅配会員限定商品です）

○生切りもち

長野県産のもち米を使用した生切りもちは、一切れずつ個包装されており、賞味期限は約1年半と長く、表面に切れ目が入っているのので、ふくら焼きあがります。化粧箱に入っておりますのでご贈答用にもご利用いただけます。



○年末用冷凍2大カニ

年末の食卓を豪華に彩り、毎年ご好評のタラバガニとズワイガニのセットです。ボリウムたつぷりの太脚タラバガニと、うま味のあるズワイガニの身と濃厚なみそを是非お試しください。

○迎春生花セット

お正月の迎春用アレンジフラワーは縁起のよい若松・千両・大菊をはじめ、カーネーションなどの洋花を使用したアレンジメントを宅急便で自宅までお届けいたします。箱からお出しただきそのまま飾って



ただくだけで、華やかな彩りになります。2種類からお選びください。



○重詰めおせち

重詰めおせちは、近年はご家庭での手作りから重詰めおせちに移行しつつあり、内容も充実してきております。本年は和風2段12、960

種類豊富な商品の取扱い

J Aまごころ宅配では、信州産の豚肉・福味鶏・牛肉のほかに厳選した水産品を中心にお届けしています。また、通常のメニューのほかに、季節品の青果予約品やエコープマーク品などの注文も実施しており、店頭ではなかなか手に入らない商品もございます。

今後はさまざまな種類のかんきつ類や新製品などをご提案いたしますので、皆様のご利用をお待ちしております。

円から全6アイテムとなり、ご指定の場所に12月30日(日)にお届けいたします。元旦はご家族そろっておせちはいかがでしょうか。

J Aまごころ宅配

ご利用感謝キャンペーン

毎年1回、まごころ宅配をご利用いただいている皆様に粗品を進呈しております（来年1月末にお届け予定）。今年はエコープマーク品の『ほめられ酢 300ml』をプレゼントいたします。ほめられ酢は全国のフレッシュミズとの共同開発商品で、さわやかな風味で和洋中どんな料理にもドレッシング感覚でお楽しみいただけます。実際に酢特有の酸っぱさがないとご利用者からも好評です。年内に宅配をお申込みいただければ間に合いますので、身近な方にもお声かけください。



J Aまごころ宅配のお申込は、J A全農長野生活課まごころ宅配（☎026-236-2257）、お近くのJ Aまでお気軽にお声がけください。
<http://www.nn.zennoh.or.jp/service/jatakuhai/>

J Aまごころ宅配

検索

松本山雅FCホームゲームで「JA全農長野デー」

全農長野県本部は9月23日(日・祝)、松本平広域総合球技場「アルウィン」で行われたJ2第34節 松本山雅FC対ロアッソ熊本戦で「JA全農長野デー」を開催しました。

当県本部の事業を身近に感じてもらうと、スタジアム横のファンパークでは2,000人が参加し「信州農産物スタンプリー」を実施。各部が1テントを受け持ち、本県が生産量上位の信州三ツ山マークの入ったダンボールを展示してマークの名前を当てても



「信州農産物スタンプリー」の参加賞は、松本山雅FCとのコラボで制作したオリジナル絆創膏

らうクイズ、スムージーを試飲して材料の野菜と果物を当てるクイズ、信州ポークやもちもちミルクパンの試食とクイズに挑戦し、正解するまでヒントを出して事業の理解につなげました。

スタジアム内では、県産カーネーションで作る「プチブーケ作り教室」を行い、サポーターと一緒に選手2名と松本山雅FCのマスコットキャラクター「ガンズくん」も参加しました。キックオフ前のピッチセレモニーでは全農長野運営委員会の雨宮勇会長が「全農



選手参加の「プチブーケ作り体験」

長野はこれからもサポーターの皆様と共に、地元信州の農業と、地域の誇りである松本山雅を応援して参ります」と挨拶すると、サポーターから「全農長野」のコールが掛かり、由井和行運営委員のキックインセレモニーで試合が始まりました。ハーフタイムには湯本豊副本部長が、松本山雅FCのホームタウン担当片山真人との掛け合いで、MVP賞に提供している信州プレミアム牛肉をPRしました。

当県本部は松本山雅FCのスポン



雨宮会長の挨拶

サー活動を、多くの皆様からの産地理解や全農長野県本部をはじめとしたJA長野県組織に関心を持っていただくきっかけにしたい、と取り組んでいきます。

試合は、J1自動昇格圏内の松本山雅FCが2対0で勝利し、2点を入れたセルジニヨ選手にMVP賞の信州プレミアム牛肉を小林哲男県本部長が、長野米1年分を寫田武司副本部長が贈呈しました。



©MATSUMOTO YAMAGA F.C.
由井運営委員のキックインセレモニー

SS事業協同経営「SSマナージャー全体会議」開催

全農長野県本部SS協同経営課は9月27日(木)、県下各地のSSマナージャーが一堂に会する、今年度2回目の「協同経営SSマナージャー全体会議」を開催しました。

近年のSS業界は、元売統合によるシステムの変更、エコカー普及による燃料油需要の減少、人員不足など、様々な問題に直面しています。今回の会議では、各SSでの取り組みを共有化する目的で、「優良事例発表」を行いました。

昨年度、タイヤ販売本数全国1位のカリスタかぎSSの取り組み、玉川S



昨年度タイヤ販売本数全国1位のカリスタかぎSS加藤マネージャー(左)と山崎生活部長

SでのENEOSTカード発券の取り組み、5S活動(美化活動)を徹底して行っているサザンポートみのわSSの取り組みをマネージャーが発表しました。

各SSでの創意工夫、スタッフ全員のこだわりが成果に結びついています。またグループディスカッションは、SS運営について白熱した討議となり、各SSでの取り組みや悩み、こだわりなどマネージャー同士の情報共有、交流ができました。

厳しい環境下、勝ち続けるJA-SSへの挑戦はまだまだ続きます。



県下協同経営SSで初めてJX中央マネージャー研修を受講した志賀高原SS青木マネージャーの発表

協同経営 46SS

JA上伊那	グリーンロード西箕輪／グリーンロード伊那／グリーンロードみすず／グリーンロード春富／グリーンロード西春近／サザンポートみのわ／東部中央／フラワーロード駒ヶ岳／七久保／飯島
JAみなみ信州	グリーンパーク座光寺／まつかわ／市田／カリスタかぎ／グリーンパーク桐林／カーポートあち／アイロードあなん
JA信州諏訪	メルヘンロード尖石／米沢セルフ／玉川／ふじみセルフ
JA木曽	おんたけ
JA松本ハイランド	ハイランドセルフ島内／フルーツロードいまい／麻績／松本臨空セルフ／アルプスロードはた／グリーンロードやまがた
JA塩尻市	北小野セルフ
JA大北	パノラマロードときわ／アルペンロード神城／白馬アルプス
JAグリーン長野	川中島セルフ今井／南長野公園前セルフ／長野インター松代セルフ／アグリしののいセルフ
JAながの	パリオ／アンズロード更埴／ちくま西部セルフ／中之条セルフ／相之島セルフ／井上セルフ／高山／志賀高原／あぐりタウンセルフ／木島平

皆様のご利用を心よりお待ちしております。



く米の学習といなり寿司作りく

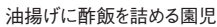
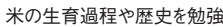
り寿司を「きれいにできた」「おいしい」と言いながら頼張っていました。

同協議会は子ども達に地産地消や食文化をわかりやすく伝え、地元農産物への親しみを醸成しようと年に1回幼稚園での食育教室を開いています。

の手が掛かつて
いることや、米

を収獲した後の
藁も様々なもの
に役立っている
こと、相撲の「四
股ふみ」の意味
などを伝えまし
た。

また、県産米を使いたいなり寿司作りも行い油揚げを破らないように酢飯を詰め、昼食時に食べました。自分で作ったいな



平成30年度9月末部門別実績表 (単位:百万円,%)

(单位:百万円,%)

(内部販売高含む)

MIDORI長野3階 「長野県長寿食堂」野菜ビュッフェ提供スケジュール(生産販売部) 長野県の健康食を一汁三菜の定食で食べられる食堂。野菜ビュッフェに県産農産物を提供しています。	
11/2(金)～4(日)	ビュッフェご利用でなめたけプレゼント
11/16(金)～18(日)	サンふじ
11/23(金・祝)～25(日)	サンふじ
11/30(金)～12/2(日)	ナガイモ

※都合により実施日・品目が変更になる場合があります。

放送日時	放送局	番組名	放送内容（予定）
11/1(木) 10:13	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりで一内「ラジオカーレポート」	なめこ（JAながの）
11/6(火) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	11/3開催伊那酩酊農祭の様子
11/8(木) 10:13	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりで一内「ラジオカーレポート」	えのきたけ（JA中野市）
11/13(火) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	絵のコンクール表彰式
11/15(木) 10:13	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりで一内「ラジオカーレポート」	サンふじ（JAながの）
11/20(火) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	乳和食のレシピ紹介
11/22(木) 10:13	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりで一内「ラジオカーレポート」	花・ユーフォルビア（JAグリーン長野）
11/27(火) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	牛乳クイズ
11/29(木) 10:13	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりで一内「ラジオカーレポート」	市田柿（JAみなみ信州）

地区の祭典係になつた

地区の祭典係になったので、久しぶりに秋祭りに実行委員で参加しました。土曜日・日曜日と神社で行われ、スピードくじとかジュース・パンを販売したり子供相撲を行ったりと、地域では大きな行事です。あいにく当日は雨で人の出足もよくなかったですが、子供達は結構来てくれましたやはり子供が多いと賑やかで良いですね、くじとか引いてはしゃいでいるのを見ると、いつの時代も子供はお祭りとか好きだよなと思いました。係のおじさん達もワイワイと昼間から楽しんでいました。普段接しない地域の人もいろいろな話が出て、準備から片付けまで大変でしたが、こういつた伝統行事を続けていく事も大切だと改めて思いました。

(K)

リング
ゴ
P
R

ました。

おいしい」「ジューシーね」と評価をいただきました。

つながると感じました。





長野米で、毎日
あっぱれ！

新米
Nagano newrice campaign
キャンペーン

あっぱれ
長野米

このマークが目印！

開催中！

長野米を食べて応募すると、抽選でステキな賞品をプレゼント！

応募期間 平成30年12月31日(月)まで



ながの★ゲンキ
みらい★ミカタ
JA全農長野



光と風と水のハーモニー
JA全農長野

JA全農長野ホームページ <http://www.nn.zennoh.or.jp>
 インターネットで産地直送「JAタウン」 <http://www.ja-town.com>

